

# 琉球大学学術リポジトリ

45-5琉球列島より採集された日本初記録のソバカス  
コブシ (新称) (十脚目: 短尾下目: コブシガニ科)

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学資料館 (風樹館) 公開日: 2018-09-18 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 前之園, 唯史, 大澤, 正幸, Maenosono, Tadafumi, Osawa, Masayuki メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/42413">http://hdl.handle.net/20.500.12000/42413</a>



## 琉球列島より採集された日本初記録のソバカスコブシ (新称) (十脚目: 短尾下目: コブシガニ科)

前之園唯史<sup>1,3</sup>・大澤正幸<sup>2</sup>

<sup>1</sup> 〒901-2111 沖縄県浦添市経塚 1-4-5 102 株式会社かんきょう社

<sup>2</sup> 〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060 島根大学エスチュアリー研究センター

<sup>3</sup> 通信著者 ([maenosono@kankyo-sha.co.jp](mailto:maenosono@kankyo-sha.co.jp))

**要旨**．ソバカスコブシ (新称) *Leucosia punctata* Bell, 1855 について、琉球列島の沖縄島および石垣島の沿岸域から採集された標本に基づき、形態や色彩の特徴を記載した。標本は水深 2 m 以浅の砂底質の海草藻場で採集された。本報告は本種の日本初記録であり、その分布の北限記録を大幅に更新した。本研究の検討標本は、*L. punctata* の原記載と異なり鉗脚の長節先端部に小顆粒を欠いていた。これは近似種である *L. affinis* Bell, 1855 の標徴形質の 1 つである。本報告では琉球列島産の標本を暫定的に *L. punctata* と同定したが、両種の分類学的な問題の解決には、より多くの標本に基づいた詳細な検討が必要である。

### はじめに

日本の沿岸域に生息するコブシガニ科は、Sakai (1937, 1976) によって総括的に扱われている。これらの著書は、発行から 40 年以上経過した現在においても利用価値が高く、九州以北で普通に見られるコブシガニ科の種は概ね掲載されている。しかしその一方、Sakai (1937) は琉球列島沿岸のコブシガニ類標本を直接扱っておらず、Sakai (1976) が扱った標本もごく僅かであった。その後は、琉球列島沿岸から採集された標本に基づいたコブシガニ科の報文も増え、情報が徐々に蓄積されてきている (例えば、武田 1976; Takeda 1977, 1989, 1995, 2008; Sakai 1983; 永井・野村 1988; Takeda & Nakasone 1991; Tan & Ng 1995; Komatsu & Takeda 1999, 2000, 2005, 2009; 川本・奥野 2003; 丸村・小阪 2003; 丸村・武田 2004, 2009; Komatsu et al. 2005, 2011; Takeda & Komatsu 2005; Naruse & Ng 2006; Komai & Ng 2012; 藤井・成瀬 2013; Shih et al. 2013; Ohtsuchi & Kawamura 2016; Naruse et al. 2017)。

近年、著者らは琉球列島各地の沿岸域において砂底環境や海草藻場に生息する甲殻類の調査を進めているが (例えば、Osawa & Fujita 2007; Osawa & Yoshida 2009; 成瀬・前之園 2014; Komai et al. 2014, 2015, 2018; 前之園・成瀬 2016;

前之園 2016, 2017; 大澤・藤田 2016; 藤田ら 2017; Naruse et al. 2017), その過程において、これまで日本沿岸から採集記録のない *Leucosia punctata* Bell, 1855 が採集された。本稿では採集標本に基づいて、本種の形態や色彩の特徴と採集環境について報告する。

本研究で検討した標本は、琉球大学資料館 風樹館 (RUMF: Ryukyu University Museum, Fujukan) に収蔵されている。標本の大きさは甲長 × 甲幅で示した。

### 結果と考察

#### Leucosiidae Samouelle, 1819

#### コブシガニ科

#### *Leucosia punctata* Bell, 1855

#### ソバカスコブシ (新称)

(図 1, 2)

**検討標本**．RUMF-ZC-5158, 2 雌 (9.4 × 7.9, 10.7 × 9.2 mm), 名護市屋我地島饒平名, 潮間帯, 海草藻場, 2009 年 4 月 11 日, 前之園唯史採集; RUMF-ZC-5155, 1 雄 (16.1 × 13.4 mm), 3 雌 (11.2 × 9.3, 11.5 × 9.8, 13.7 × 11.5 mm), 1 抱卵雌 (15.6 × 13.4 mm), 名護市屋我地島饒平名, 潮下帯 (水深 2 m 以浅), 海草藻場, 2015 年 5 月 17 日, 前之園唯史採集; RUMF-ZC-5163, 1 雄 (14.1 × 11.8 mm), 沖縄島名護市嘉陽, 海草藻場, 2012 年 4 月 8 日, 前之園唯史採集; RUMF-ZC-5162, 1 雌 (7.7 × 6.5 mm), 沖縄島うるま市海中道路, 2008 年 12 月 13 日, 前之園唯史採集; RUMF-ZC-5160, 2 雄 (11.0 × 9.5: 右の鰓室にヤドリムシ類が寄生, 12.1 × 10.0 mm), 沖縄島うるま市海中道路, 2013 年 1 月 11 日, 前之園唯史採集; RUMF-ZC-5161, 1 雄 (11.6 × 9.6 mm), 沖縄島うるま市海中道路, 2013 年 2 月 9 日, 前之園唯史採集; RUMF-ZC-5159, 2 雄 (8.3 × 7.0, 10.6 × 8.7 mm), 1 雌 (7.4 × 6.1 mm), うるま市藪地島, 2010 年 3 月 19 日, 前之園唯史採集; RUMF-ZC-5176, 1 雄 (15.3 × 12.6 mm), 沖縄島北中城村美崎, 潮間帯, 海草藻場, 2010 年 5 月 15 日, 大澤正幸採集; RUMF-ZC-5157, 1 抱

卵雌 (15.8 × 13.5 mm), 沖縄島北中城村美崎, 海草藻場, 2010年6月28日, 前之園唯史採集; RUMF-ZC-5156, 1雌 (10.4 × 8.6 mm), 石垣島伊原間, 潮間帯, 海草藻場, 2015年3月21日, 前之園唯史採集.

**形態的特徴.** 甲 (図 1A-C) の背面の輪郭は, 前方が細く伸長した五角形で, 甲長は甲幅の 1.16-1.22 (平均 1.19, 標準偏差 ± 0.02, n = 17) 倍である. 甲の表面は陶器のような光沢があり平滑に見えるが, 顕微鏡下では, 甲の全域を覆う小孔と後縁を覆う小顆粒 (腸域で密集する個体が多い) が確認できる. 一部の個体では前鰓域にも小顆粒が疎らに散在する. これらの小孔や小顆粒の密度には雌雄や成長段階に関わらず変異がみられる. 額の前縁は, 中央の切れ込みによって2葉に分かれる. 甲の側縁と後縁は, 背面側 (額から続く縁) と腹面側 (歩脚基部の直上の縁: epimeral ledge) の2列となり, 両列ともに瘤状顆粒 (tubercles) で縁取られる. 腹面側の甲縁の後側角と後縁は, 背面から確認できる.

頬域の外縁付近には小顆粒が散在する (図 2A). 胸腔 (thoracic sinus) は, 微小な顆粒で覆われ, それらより大きな4-6個の瘤状顆粒が鉗脚基部の直上に並ぶ (図 2A). 第3顎脚には雌雄差がみられる. すべての雄および小型の雌 (甲長 11.5 mm 以下) では外面が無毛・平滑であるが (図 2B), 大型の雌 (甲長 13.7 mm 以上) では座節と長節外面の内縁近くを剛毛の列が縦走り, 座節の前側角に鈍角の突起がある (図 2C). 鉗脚の長節には, 下面の一部を除き大型の瘤状顆粒が並ぶが, 先端部 (腕節との関節付近) は平滑である (図 1A, B). 腹甲の第3胸節の前方付近には小顆粒が散在する (図 1D, 2A). 第1腹節と第2腹節を分ける縫合線は明瞭である. 第2-6腹節は雌雄や成長段階によって癒合の程度が異なる. すべての雄では第3-5腹節が完全に癒合する (図 1D). 大型の雄 (甲長 14.1 mm 以上) では第2・3および第5・6腹節間が明瞭な縫合線によって分離し, 第6腹節の外面には基部から1/3程度の位置に小さな突起を具える (図 2D). 小型の雄 (甲長

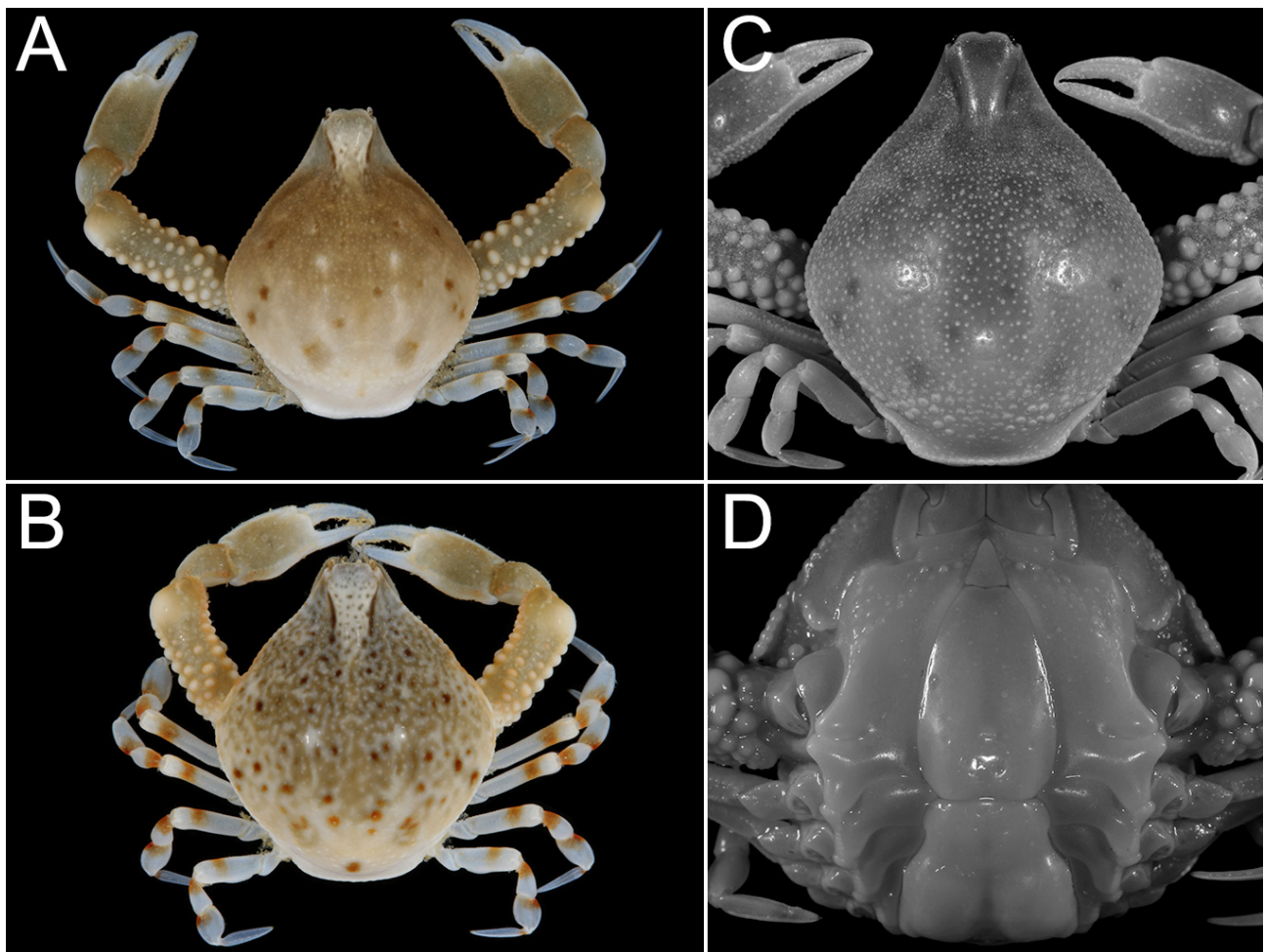


図 1. ソバカスコブシ (新称). A, C, D, 雄 (16.1 × 13.4 mm), RUMF-ZC-5155; B, 雌 (13.7 × 11.5 mm), RUMF-ZC-5155. A, B, 全体, 背面 (生時の色彩); C, 甲, 背面; D, 胸部腹甲と腹部, 腹面.

Fig. 1. *Leucosia punctata* Bell, 1855. A, C, D, male (16.1 × 13.4 mm), RUMF-ZC-5155; B, female (13.7 × 11.5 mm), RUMF-ZC-5155. A, B, entire animal (live colorations), dorsal; C, carapace, dorsal; D, thoracic sternum and pleon, ventral.

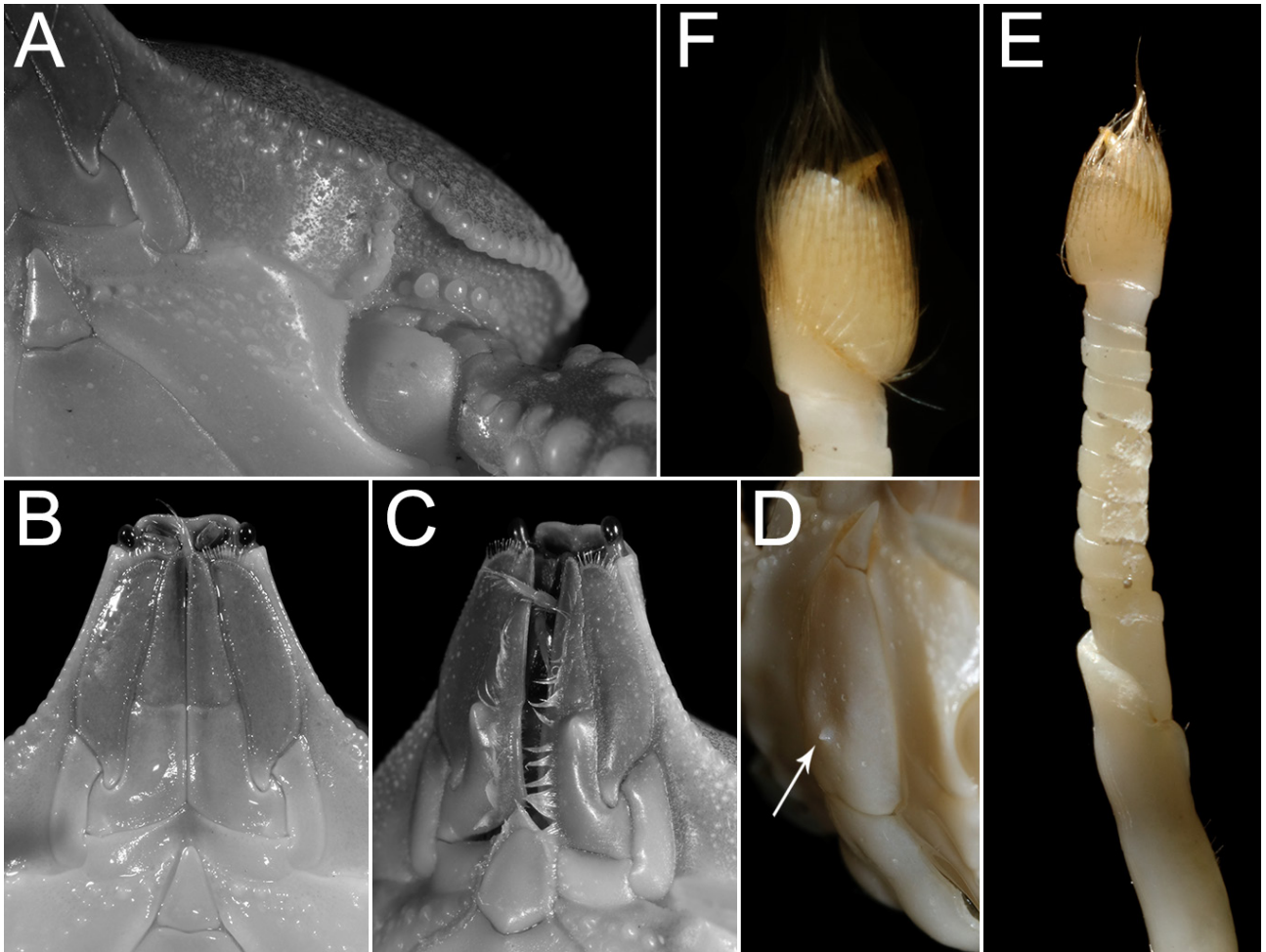


図2. ソバカスコブシ (新称). A, B, D, 雄 (16.1 × 13.4 mm), RUMF-ZC-5155; C, 抱卵雌 (15.6 × 13.4 mm), RUMF-ZC-5155; E, F, 雄 (14.1 × 11.8 mm), RUMF-ZC-5163. A, 左の胸腔, 前腹面; B, C, 第3顎脚, 外面; D, 第6腹節の突起, 左側面; E, 左の第1腹肢, 外側面; F, 同, 先端部, 内側面.

Fig. 2. *Leucosia punctata* Bell, 1855. A, B, D, male (16.1 × 13.4 mm), RUMF-ZC-5155; C, ovigerous female (15.6 × 13.4 mm), RUMF-ZC-5155; E, F, male (14.1 × 11.8 mm), RUMF-ZC-5163. A, left thoracic sinus, anteroventral; B, C, third maxillipeds, outside; D, protrusion on sixth abdominal somite, left lateral; E, left first gonopod, lateral; F, same, apical part, mesial.

12.1 mm 以下) では第2・3 および第5・6 腹節間の縫合線が不明瞭, または明瞭な場合でも各腹節は機能的に癒合しており, 第6 腹節の突起を欠く. 大型の雌 (甲長 13.7 mm 以上) では第2・3 腹節間に縫合線があるが, 機能的に癒合しており, 第3-6 腹節は完全に癒合する. 小型の雌 (甲長 11.5 mm 以下) では第2-6 腹節が完全に癒合しており, 第2・3 および第5・6 腹節間に辛うじて認識できる縫合線がある. 雄の尾節は縦長の三角形 (図 1D, 2A, B, D), 雌は卵形に近い縦長の六角形 (図 2C) である. 雄の第1 腹肢の軸部は, 腹部側から見て内側回りに捻じれる (図 2E). この捻じれは大型個体 (甲長 14.1 mm 以上) ではより強く, 巻き数は8-10 回であるが, 小さい個体ほど捻じれは弱く巻き数も少ない. 第1 腹肢の先端部は楕円体で, その周囲は細い剛毛で包まれ, 末端に細い管状の角質部を持つ (図 2F).

**色彩.** 甲の背面の地色は, 小型個体では乳白

色で, 成長に伴って次第に褐色味が強くなる. さらに小型個体や雌では, 多くの場合, 薄灰色の網目模様が見られる. これらの地色の上に赤褐色の斑紋がほぼ左右対称に配置される. この斑紋は小型個体よりも大型個体, 雄よりも雌で多い傾向にある. 額域の後方は地色が薄く, その側方の窪みは赤褐色で縁取られる. 鉗脚は, 甲の背面の地色とほぼ同じであるが, 指部の先端は白色である. 歩脚は白色で, 長節の中央よりやや先端寄りの位置に1本 (基部に薄い1本がある場合もある), 腕節から指節の基部に各1本, 薄い赤褐色の横帯を持つ.

**備考.** Galil (2003a, b, 2005a, b, 2006a, b) の一連の研究をとおして, *Leucosia* Weber, 1795 の分類学的な見直しが行われ, 狭義の *Leucosia* が再定義されるとともに, 従来本属に含まれていたいくつかの種が新属の *Euclosia* Galil, 2003, *Urnalana* Galil, 2005, *Seulocia* Galil, 2005,

*Coleusia* Galil, 2006, *Soceulia* Galil, 2006 に移された。その後、*Euclosia* Galil, 2003 は、ハチドリ科鳥類の *Euclosia* Mulsant, Verreaux & Verreaux, 1866 の新参異物同名であることが判明し、置換名 *Euclosiana* Galil & Ng, 2010 が与えられた (Galil & Ng 2010)。

検討標本は、Galil (2003a) で再定義された狭義の *Leucosia* に次の特徴を持つことで一致する：(1) 甲の背面の輪郭は、前方が細く伸長した五角形 (*Seulocia*・*Urnalana* では菱形に近い)；(2) 胸腔 (thoracic sinus) の前縁を囲う大型の瘤状顆粒を欠く (*Euclosiana* では大型の瘤状顆粒に囲まれる)；(3) 大型の雌では、第3顎脚の座節・長節外面の内縁近くに剛毛列が縦走する (*Urnalana* では雌雄ともに剛毛列を欠く)；(4) 大型の雄の腹節は、第3-5節が癒合する (*Coleusia*・*Seulocia* では第3-6節が癒合する)；(5) 大型の雄の第1腹肢は、5回以上捻じれている (*Coleusia*・*Euclosiana*・*Seulocia*・*Soceulia*・*Urnalana* では捻じれていない、または捻じれば3回以下)。これらの特徴のうち、雄の腹節と第1腹肢および雌の第3顎脚には成長に伴う形態変異が、検討標本において確認されたため、小型個体のみによる同定には注意が必要である。

上記の属の特徴に加えて、額の前縁が2葉に分かれる、甲の背面の後域が小顆粒で覆われる、頬域と腹甲の第3胸節に小顆粒が散在するという特徴において、Galil (2003a) が示した *L. punctata* Bell, 1855 の記載 (インド洋?産のホロタイプおよびフィリピン、インドネシア、オーストラリア産の標本) や図 (figs. 1C, 2E, F; インドネシアケイ諸島産の標本) と本標本は概ね一致した。しかしながら、鉗脚の長節と雄の腹節の特徴は、Bell (1855) による *L. punctata* の記載や図とは、異なっていた。

本研究の雄の大型標本では、腹節上の小突起が第6腹節に位置しているが、Bell (1855) による本種の図 (pl. 30, fig. 5c) では、癒合した第3-5腹節に描かれている。この小突起の位置を Ihle (1918: 278) は “Das Glied vor dem Telson” (尾節の前の節) としていることに加え、Galil (2003a) による狭義の *Leucosia* の標徴形質 (p. 182) でも第6腹節とされていることから、Bell (1855) の図は誤認に基づいていると推察される。さらに、本研究の検討標本では、鉗脚の長節の先端部 (腕節との関節付近) が平滑であり、“小顆粒で覆われる” とした Bell (1855) の記載や図 (pl. 30, fig. 5b) と一致していない。*Leucosia punctata* のホロタイプを再検討した Galil (2003a) も “鉗脚の長節は全体が顆粒で覆われる” と記載しているが、その付図 (fig. 1C, ケイ諸島産の標本) から判断する限り、本研究の検討標本と同様に平

滑である。

Bell (1855) は、*L. punctata* とともに、本種によく似た *L. affinis* (タイプ産地：フィリピン) も新種として記載した。Bell (1855) で挙げられた両種の識別点は次の2点である：(1) 甲の背面の全域が、*L. punctata* では小孔で覆われる一方、*L. affinis* では小孔がほとんどない；(2) 鉗脚の長節の先端部が、*L. punctata* では小顆粒で覆われるが、*L. affinis* では平滑である。しかし Ihle (1918) は、両種の特徴を併せ持つインドネシア産の標本 (甲の背面の全域が小孔で覆われる一方、鉗脚の長節の先端部が平滑) が存在することから、Bell (1855) が挙げた識別形質を種内変異であると判断し、両種を同一種 (*L. affinis* が新参異名) と扱った。この Ihle (1918) の見解に Estampador (1937, 1959) や DiMauro (1982) も従っている。しかしながら、Galil (2003a) による *L. punctata* の再記載では、*L. affinis* との異名関係について言及されておらず、さらに Ng et al (2008) は、両種を別の種と扱っている。本研究の検討標本では、鉗脚の長節先端部に小顆粒を欠くことで、*L. affinis* の特徴に一致した一方で、甲の背面の小孔については、その密度に変異がみられたが、“ほとんどない” と判断できる個体は確認されなかった。このように、*L. punctata* と *L. affinis* の異同について不明な点が残されているものの、両種を同一種と判断した Ihle (1918) の見解に従い、本研究では琉球列島産の標本を暫定的に *L. punctata* と同定した。両種の分類学的解決には、それらのタイプ標本やトポタイプ (タイプ産地の標本) を含む、より多くの材料に基づいた詳細な比較が必要である。

**分布**。*Leucosia punctata* はインド洋(?)をタイプ産地として、これまでフィリピン、インドネシア、オーストラリアから報告されていた (Galil 2003a; Galil & Ng 2007; Galil & Titelius 2008)。沖縄島および石垣島から採集された本研究の検討標本は、本種の日本沿岸からの初記録であり、分布記録の北限を沖縄島まで大幅に更新した。なお、本種との異同が定かでない *L. affinis* はフィリピン (タイプ産地) とインドネシアから報告されている (Bell 1855; Sluiter 1881)。

**生息環境**。検討標本は潮間帯の下部および潮下帯 (水深2 m以浅) の海草藻場で採集された。先行研究による採集水深は、潮間帯から水深36 mにかけてで、底質は砂・泥底とされている (Galil 2003a; Galil & Ng 2007; Galil & Titelius 2008)。

**標準和名**。甲の背面にある赤褐色の斑紋を「そばかす」に見立て、本種の標準和名に「ソバカスコブシ」を提唱する。なお、標準和名の基準となる標本として RUMF-ZC-5155 (雄, 16.1 ×

13.4 mm) を指定する。

### 謝辞

成瀬貫氏（琉球大学熱帯生物圏研究センター）には、文献の入手や標本の収蔵に関してご協力いただいた。小澤宏之氏（一般財団法人沖縄県環境科学センター）、西垣孝治氏（株式会社沖縄環境保全研究所）、前之園麻峰子氏には、一部の採集調査にご協力いただいた。匿名の査読者および担当編集者には改稿にあたって貴重なご意見をいただいた。これらの方々に厚くお礼申し上げます。

### 引用文献

- Bell, T., 1855. XXXI. Horae carcinologicae, or notices of Crustacea. I. A monograph of the Leucosiadae, with observations on the relations, structure, habits and distribution of the family; a revision of the generic characters; and descriptions of new genera and species. The Transactions of the Linnean Society of London, 21(4): 277–314, pls. XXX–XXXIV.
- DiMauro, A.A. Jr., 1982. Rediscovery of Professor Thomas Bell's type Crustacea (Brachyura) in the dry crustacean collection of the Zoological Collections, University Museum, Oxford. Zoological Journal of the Linnean Society, 76(2): 155–182.
- Estampador, E.P., 1937. A check list of Philippine crustacean decapods. The Philippine Journal of Science, 62(4): 465–559.
- Estampador, E.P., 1959. Revised check list of Philippine crustacean decapods. Natural and Applied Science Bulletin, 17(1): 1–127.
- 藤井琢磨・成瀬貫, 2013. 沖縄島沿岸より採集された日本初記録のニシヒラトゲコブシ（新称）*Arcania novemspinosa*（甲殻亜門：十脚目：コブシガニ科）. Fauna Ryukyuana, 3: 1–6.
- 藤田喜久・大澤正幸・久保弘文, 2017. 宮古島与那覇前浜の潮下帯砂底環境から得られた十脚目甲殻類. Fauna Ryukyuana, 34: 1–6.
- Galil, B.S., 2003a. Contribution to the knowledge of Leucosiidae I. The identity of *Leucosia craniolaris* (Linnaeus, 1758), and redefinition of the genus *Leucosia* Weber, 1795 (Crustacea: Brachyura). Zoologische Mededelingen, 77(8): 181–191.
- Galil, B.S., 2003b. Contribution to the knowledge of Leucosiidae II. *Euclosia* gen. nov. (Crustacea: Brachyura). Zoologische Mededelingen, 77(20): 331–347.
- Galil, B.S., 2005a. Contributions to the knowledge of Leucosiidae III. *Urnalana* gen. nov. (Crustacea: Brachyura). Zoologische Mededelingen, 79-2(2): 9–40.
- Galil, B.S., 2005b. Contributions to the knowledge of Leucosiidae IV. *Seulocia* gen. nov. (Crustacea: Brachyura). Zoologische Mededelingen, 79-2(3): 41–59.
- Galil, B.S., 2006a. Contributions to the knowledge of Leucosiidae V. *Coleusia* gen. nov. (Crustacea: Brachyura). Zoologische Mededelingen, 80-4(5): 55–69.
- Galil, B.S., 2006b. Contributions to the knowledge of Leucosiidae VI. *Soceulia* gen. nov. (Crustacea: Brachyura). Zoologische Mededelingen, 80-4(6): 71–79.
- Galil, B. S. & P.K.L. Ng, 2007. Leucosiid crabs from Panglao, Philippines, with descriptions of three new species (Crustacea: Decapoda: Brachyura). In: S.H. Tan & P.K.L. Ng (eds.), Crustacean Supplement I. The Raffles Bulletin of Zoology, Supplement, 16: 79–94.
- Galil, B.S. & P.K.L. Ng, 2010. On a collection of calappoid and leucosioid crabs (Decapoda, Brachyura) from Vanuatu, with description of a new species of Leucosiidae. In: P. Castro, P.J.F. Davie, P.K.L. Ng & B. Richer de Forges (eds.), Studies on Brachyura: a Homage to Danièle Guinot. Crustaceana Monographs, 11: 139–152.
- Galil, B.S. & M.M. Titelius, 2008. Contributions to the knowledge of the Leucosiidae (Crustacea: Brachyura) of the Dampier Archipelago, Western Australia. In: D.S. Jones (ed.), Crustaceans collected by the Western Australian Museum/Woodside Energy Ltd. Partnership to explore the Marine Biodiversity of the Dampier Archipelago, Western Australia, 1998–2002. Records of the Western Australian Museum, Supplement, 73: 303–314 [Issue dated 2007].
- Ihle, J.E.W., 1918. Die Decapoda Brachyura der Siboga-Expedition. III. Oxystomata: Calappidae, Leucosiidae, Raninidae. Siboga-Expedition Monografie, 39(b2): 159–322.
- 川本剛志・奥野淳兒, 2003. エビ・カニガイドブック 2 沖縄・久米島の海から. 阪急コミュニケーションズ, 東京.
- Komai, T., T. Maenosono & Y. Fujita, 2014. Two new species of ghost shrimp assigned to the genus *Cheramus* Spence Bate, 1888 (Crustacea: Decapoda: Axiidea: Callianassidae) from the Ryukyu Islands, Japan. Zootaxa, 3895(4): 503–

- Komai, T., T. Maenosono & M. Osawa, 2015. Records of three species of callianassid ghost shrimp from the genera *Glypturus* Stimpson, 1866 and *Corallianassa* Manning, 1987 (Crustacea: Decapoda: Axiidea) from the Ryukyu Islands, Japan, with remarks on the taxonomic status of the two genera. *Fauna Ryukyana*, 27: 13–59.
- Komai, T. & P.K.L. Ng, 2012. A new genus and new species of leucosiid crab (Crustacea: Decapoda: Brachyura) from coral reefs in the Indo-West Pacific. *Zootaxa*, 3352: 40–50.
- Komai, T., M. Osawa, T. Maenosono, Y. Fujita & T. Naruse, 2018. Records of the callianassid ghost shrimp *Lepidophthalmus tridentatus* (von Martens, 1868) (Crustacea: Decapoda: Axiidea: Callianassidae) from the Ryukyu Islands, Japan. *Fauna Ryukyana*, 42: 9–27.
- Komatsu, H. & M. Takeda, 1999. A new leucosiid crab of the genus *Nursia* from the Ryukyu Islands. *Bulletin of the National Science Museum. Series A, Zoology*, 25(1): 59–64.
- Komatsu, H. & M. Takeda, 2000. Leucosiid crabs (Crustacea: Decapoda: Brachyura) from the Osumi Islands, southwest Japan, with description of a new species of *Cryptocnemus*. *Species Diversity*, 5(3): 267–283.
- Komatsu, H. & M. Takeda, 2005. Two new species of the genus *Heteronucia* (Crustacea: Decapoda: Brachyura: Leucosiidae) from Japan. *Proceedings of the Biological Society of Washington*, 118(4): 731–741.
- Komatsu, H. & M. Takeda, 2009. Rare crabs (Crustacea, Decapoda, Brachyura) from Okinawa Island, with description of a new species of the family Leucosiidae. *Bulletin of the National Museum of Nature and Science. Series A, Zoology*, 35(2): 125–136.
- Komatsu, H., A. Go, K. Nakaguchi & S. Ohtsuka, 2011. Description of male *Ebalia stellaris* Naruse and Ng, 2006 (Crustacea, Decapoda, Leucosiidae), with a revision of the species diagnosis. *Bulletin of the National Museum of Nature and Science. Series A, Zoology*, 37(4): 195–201.
- Komatsu, H., M.R. Manuel & M. Takeda, 2005. A small collection of leucosiid crabs (Crustacea: Decapoda: Brachyura) from Balicasag Island, Bohol, Philippines. *Species Diversity*, 10(2): 105–123.
- 前之園唯史, 2016. 琉球列島より採集された日本初記録のヒシガニ科 (十脚目: 短尾下目) 2種の報告および1稀種の追加報告. *Cancer*, 25: 33–39.
- 前之園唯史, 2017. 琉球列島初記録となるアリアケヤワラガニ (十脚目: 短尾下目: ヤワラガニ科) の記録. *Fauna Ryukyana*, 37: 23–25.
- 前之園唯史・成瀬貫, 2016. 琉球列島におけるヒライソガニ亜科2稀種 (十脚目: 短尾下目: モクズガニ科) の新産地報告. *Fauna Ryukyana*, 28: 1–3.
- 丸村真弘・小阪晃, 2003. 永井誠二コレクションカニ類標本目録. 和歌山県立自然博物館, 海南.
- 丸村真弘・武田正倫, 2004. 和歌山県立自然博物館所蔵のカニ類標本 (永井コレクション) の分類学的研究 I. 日本新記録種 (1). *南紀生物*, 46(2): 93–99.
- 丸村真弘・武田正倫, 2009. 和歌山県立自然博物館所蔵のカニ類標本 (永井コレクション) の分類学的研究 II. 日本新記録種 (2). *南紀生物*, 51(2): 75–80.
- 永井誠二・野村恵一, 1988. 新星図書シリーズ 沖縄海中生物図鑑 7. 新星図書出版, 浦添.
- 成瀬貫・前之園唯史, 2014. ハジカサーヒメソバガラガニ (新称) (甲殻亜門: 十脚目: 短尾下目: ヤラワガニ科) の沖縄諸島からの記録. *Fauna Ryukyana*, 12: 1–3.
- Naruse, T., T. Maenosono, D. Uyeno, S. Samejima & N. Shirakawa, 2017. Records of six leucosioid crab species from the Ryukyu Archipelago, Japan. *Fauna Ryukyana*, 36: 1–11.
- Naruse, T. & P.K.L. Ng, 2006. Two new species of leucosiid crabs (Decapoda: Brachyura) from the Ryukyu Islands, Japan. *Crustacean Research*, 35: 108–116.
- Ng, P.K.L., D. Guinot & P.J.F. Davie, 2008. *Systema Brachyurorum: Part I. An annotated checklist of extant brachyuran crabs of the world*. *The Raffles Bulletin of Zoology, Supplement*, 17: 1–286.
- Ohtsuchi, N. & T. Kawamura, 2016. Redescription of *Alox chaunos* Galil & Ng, 2007 (Crustacea: Decapoda: Brachyura: Leucosiidae) new to Japan; with notes on the male characters of *A. latusoides* (Sakai, 1937). *Zootaxa*, 4111(1): 41–52.
- Osawa, M. & Y. Fujita, 2007. Sand crabs of the genus *Albunea* (Crustacea: Decapoda: Anomura: Albuneidae) from the Ryukyu Islands, southwestern Japan, with the description of a new species. *Species Diversity*, 12(2): 127–140.
- 大澤正幸・藤田喜久, 2016. 宮古諸島伊良部島・下地島から得られた口脚目および十脚目 (アナエビ下目, アナジャコ下目, 異尾下目) 甲殻類. *Fauna Ryukyana*, 28: 37–56.

- Osawa, M. & R. Yoshida, 2009. Two estuarine hermit crab species of the genus *Clibanarius* (Crustacea: Decapoda: Diogenidae) from the Ryukyu Islands, southern Japan. *Species Diversity*, 14(4): 267–278.
- Sakai, T., 1937. Studies on the crabs of Japan II. Oxystomata. *Science Reports of the Tokyo Bunrika Daigaku, Section B, 3 Supplement*, 2: 67–192, pls. X–XIX.
- Sakai, T., 1976. Crabs of Japan and the Adjacent Seas. (In 3 volumes: 1. English text; 2. Plates volume; 3. Japanese text). Kodansha, Tokyo.
- Sakai, T., 1983. Description of new genera and species of Japanese crabs, together with systematically and biogeographically interesting species (I). *Reseaches on Crustacea*, 12: 1–44, pls. I–VIII, 1 frontispiece.
- Shih, Y.-J., P.-H. Ho, T.-Y. Chan & T. Naruse, 2013. New records of leucosiid crabs (Decapoda, Brachyura) from Taiwan. *Crustaceana*, 86(6): 728–738.
- Sluiter, C.Ph., 1881. Bijdrage tot de kennis der Crustaceën fauna van Java's Noordkust. *Natuurkundig Tijdschrift voor Nederlandsch-Indië*, 40: 159–164, 1 pl.
- 武田正倫, 1976. 種子島の磯および周辺海域の十脚甲殻類. *国立科学博物館専報*, 9: 151–161.
- Takeda, M., 1977. Crabs from shallow waters off Mage-jima Island, southwest Japan. *Bulletin of the National Science Museum. Series A, Zoology*, 3(2): 73–89.
- Takeda, M., 1989. Shallow-water crabs from the Oshima Passage between Amami-Oshima and Kakeroma-jima islands, the northern Ryukyu Islands. *Memoirs of the National Science Museum*, 22: 135–184, pl. 4.
- Takeda, M., 1995. A new leucosiid crab, *Arcania uenoi*, from the Ryukyu Islands. *Special Bulletin of the Japanese Society of Coleopterology*, 4: 151–155.
- Takeda, M., 2008. A small collection of crabs from shallow water off Amami-Oshima Island, northern Ryukyu Islands, collected by the RV Taisei Maru (KT-04-24 cruise). *Journal of Teikyo Heisei University*, 19: 1–13.
- Takeda, M. & H. Komatsu, 2005. Collections of crabs dredged off Amami-Oshima Island, the northern Ryukyu Islands. In: K. Hasegawa, G. Shinohara & M. Takeda (eds.), *Deep-Sea Fauna and Pollutants in Nansei Islands. National Science Museum Monographs*, 29: 271–288.
- Takeda, M. & Y. Nakasone, 1991. Three leucosiid crabs of the genus *Philyra* from Okinawa, the Ryukyu Islands, with description of a new species. *Bulletin of the National Science Museum. Series A, Zoology*, 17(1): 19–24.
- Tan, C.G.S. & P.K.L. Ng, 1995. A revision of the Indo-Pacific genus *Oreophorus* Rüppell, 1830 (Crustacea: Decapoda: Brachyura: Leucosiidae). In: B. Richer de Forges (ed.), *Les fonds meubles des lagons de Nouvelle-Calédonie (Sédimentologie, benthos)*. Pp. 101–205, *Etudes & Thèses, Volume 2, ORSTOM, Paris*.

**First record of *Leucosia punctata* Bell, 1855 (Decapoda: Brachyura: Leucosiidae) from the Ryukyu Archipelago, southwestern Japan**

**Tadafumi Maenosono<sup>1,3</sup> & Masayuki Osawa<sup>2</sup>**

<sup>1</sup>Kankyosha, 1-4-5 102 Kyojuka, Urasoe, Okinawa 901-2111, Japan

<sup>2</sup>Estuary Research Center, Shimane University, 1060 Nishikawatsu-cho, Matsue, Shimane 690-8504, Japan

<sup>3</sup>Corresponding author ([maenosono@kankyosha.co.jp](mailto:maenosono@kankyosha.co.jp))

**Abstract.** A rarely recorded leucosiid crab, *Leucosia punctata* Bell, 1855, is reported from Okinawa and Ishigaki Islands, the Ryukyu Archipelago, southwestern Japan, based on material from seagrass beds in sandy bottoms of the lower intertidal to subtidal depth shallower than 2 m. The present specimens represent the first records of the species from Japanese waters and significantly extend the geographical range to the north. A diagnosis and live coloration of *L. punctata* are provided. The present specimens are different from the original description of *L. punctata* by the absence of granules on the dorsodistal portion of the cheliped merus, which is one of the diagnostic characters of morphologically close but poorly known *L. affinis* Bell, 1855. Relationships of the two species need to be verified by examining the types as well as additional specimens to consider sizes, sexual and local variations, but this study tentatively identified the present specimens as *L. punctata*.

投稿日 2018年4月2日  
受理日 2018年8月30日  
発行日 2018年9月10日